

取扱説明書

ver. 1.00

洗面化粧台
WF019-600- (WW、PG、DK) - (T1、T2、T3、T4)



■ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

1 安全上のご注意（必ずお守りください）




■ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。




	警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。










■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

■転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくためにこの取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

■組み込まれる機器・器具などについては、それぞれの取扱説明書及び本体に表示されている事項をお守りください。

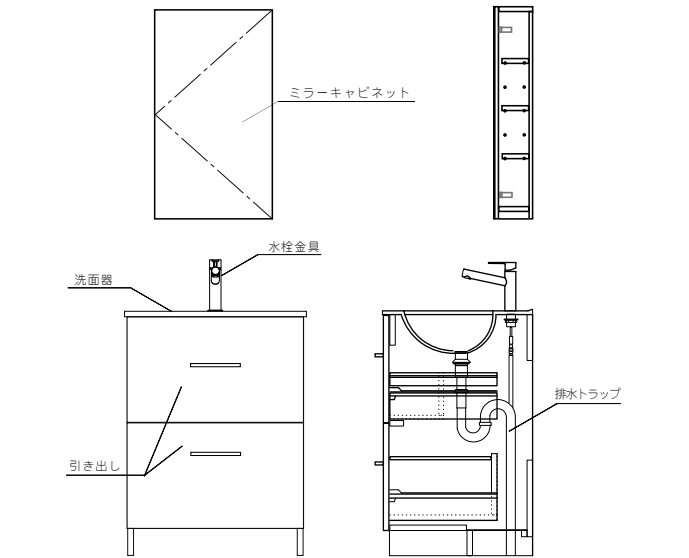
	警告
	改造しないでください。 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理をしないでください。 漏水・故障・落下事故の原因となります。
	直射日光を当てたり、ストーブなど熱を発生するものを近くに置いて使用しないでください。 発熱・発火により、変色・変形や火災の恐れがあります。

	注意
	洗面ボウルやキャビネットの上に乗ったりしないでください。 落下事故、破損の原因となります。
	洗面ボウルに衝撃を与えないでください。 洗面ボウルが破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因となります。
	洗面ボウルが冷えているときに急激に熱湯をかけないでください。 洗面ボウルが破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因となります。
	凍結が予想される場合は、器具の水抜きをしてください。 凍結破損で漏水し、家財を傷める恐れがあります。 水栓金具なども水抜きが必要です。
	キャビネット内の排水トラップに収納物などで無理な力や衝撃をあたえないでください。 排水トラップが傷んだり、ホースが抜けたりすると、漏水の恐れがあります。
	カウンター、キャビネットは濡れた状態にして置いておかないで下さい。 木質で出来ていますので、濡れた状態で放置しておきますと表面仕上げのそり、浮き、剥離、劣化の原因になります。
	引き出しには20kg以上の荷物を置かないでください。 破損・収納不良の原因となります。
	多湿な部屋（UB内など）には置かないでください。 多湿な部屋に長時間置いておくとキャビネット反り、表面仕上げの浮き剥離、劣化の原因及びガラスの錆びの原因になります。

4 ご使用方法とご注意

ご使用前の確認
・水栓金具のレバーを回して水(湯)が出ることを確認してください。 ・給排水の接続部からの水漏れがないことを確認してください。 ・引き出しが傾いたり、ガタツキがないことを確認してください。 ・引き出しが無理なく出し入れできるかを確認してください。 ・ミラーキャビネットの鏡扉が開閉できるか確認してください。
ご使用方法
■水栓金具 【温度調整】 レバーを左右に回転させます(右に回すと水、左に回すとお湯がです。) 【水量調整】 レバーを上下させます(上げると湯水が出て、下げると止まります。) 【ポップアップ】 T1、T2、T3は水栓金具の背面のポップアップ棒を上げると貯水します。 ポップアップ棒を下げると排水します。 T4は排水口を押すと貯水します。 もう一度排水口を押すと排水します。
■引き出しの耐荷重 引き出しの耐荷重は25kg以下です。それ以上の物を入れますと、引き出しのレールの故障となります。
■引き出しの取り付け取りはずし方法 【取りはずし方法】 ※床を傷つけないように、床に布などを敷いてください。 ・引き出しを完全に引き出した状態にしてください。 ・引き出し先端を上にし持ち上げて手前に引けば取りはずせます。
【取り付け方法】 ・引き出し先端を持ち上げた状態でスライドレールに沿って入れそのまま水平に戻してください。

5 各部のなまえ



安全上のご注意
組み込まれる機器・器具などについては、それぞれの取扱説明書及び本体に表示されている事項をお守りください。
使用上のご注意
■洗面ボウルにシンナーなどの溶剤や薬品を流したり、樹脂部分に毛染め液や化粧品を付着させないでください。 洗面ボウル・排水トラップ・樹脂部分等が変質・変色破損する恐れがあります。
■引き出し内には漏水をかけないでください。 破損・収納不良の原因となります。
6 お手入れ方法
■シンナー・ベンジン・酸性・アルカリ性洗剤を使用して、樹脂部分を掃除しないでください。
陶器部分以外のミラーキャビネット・水栓金具・排水トラップ等がケミカルクラックを起こし、割れたり、樹脂部分や木部が変色・変形を起したりする場合があります。 洗顔料、整髪料、スキンケア・フェイスクア用品、メイク用品などの化粧品もケミカルクラックを起こす要因になります。 これらを棚に置く場合でも、容器の底をよく拭いてから置いて下さい。 そうじをされる時は、うすめた中性洗剤を使用し残った洗剤分は拭き取ってください。
■長くご使用されるうちに排水トラップに汚れなどが溜まっていきますのでこまめなそうじを心がけてください。
排水の流れが悪くなります。 強い洗剤で汚れを流すのではなく、排水トラップをはずしてブラシなどでそうじをおこなってください。 組立て後漏水がないことを確認してください。
■極度に湿度の高い所で使用しますと製品の劣化を早めることがありますので、定期的な換気を心がけてください。

7 点検方法

長くお使い頂くために、定期的な点検を行ってください。
【水栓のかたつき】 水栓金具にかたつきがある場合、そのまま使用されますと故障や漏水の原因となりますので販売店又は、株式会社 三栄水栓製作所 お客様サービスセンターへ修理をご依頼ください。
【配管まわりの漏水】 配管まわり(キャビネット内)に漏水が無いを確認してください。 漏水している場合は、止水栓又は元栓を閉め修理をご依頼ください。 止水栓はハンドル(ドライバー式の場合はマイナスドライバーなどで)を時計回りに回すと閉まります。
【排水のつまり】 排水口や排水トラップに汚れなどが溜まると排水の流れが悪くなりますので定期的に点検を行ってください。